



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

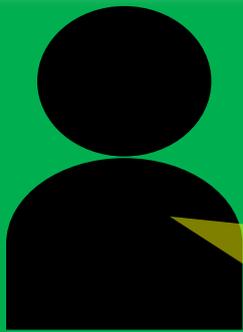
2024.6.13
NO.121

3大労災にも関わらず箱口令

JR大井町駅 協力会社社員墜落負傷事故

～安全管理もできない会社に「想定外は想像」できない～

JR東日本



〇〇営業統括センターの仲間

先日、大井町駅改良工事で墜落事故の事故速報を見ました。この前も中山駅で墜落死亡事故があったにもかかわらずあまり話題になっていない！労組対策の書面はポータブルのトップ画面「重要事項」に対し、3大労災の重要事故にもかかわらずトップ画面にないのは隠蔽したい証拠だ！

仲間の声により、JR東日本のずさんな安全管理が発覚した。6月1日午前2時30分頃、京浜東北線JR大井町駅にて改良工事にあっていた関係社員が約7Mの高さから墜落、負傷するという事故が発生した。JR東日本では今年2月にも横浜線JR中山駅にて同様な事故で関係社員1名が亡くなっている。親会社であるJR東日本の安全への「対策」と「管理」に問題があると言わざるを得ない現実だ。モビリティ部門から生活ソリューション部門への転換・団塊世代の退職・仕事は濃くなるが上がらない賃金体系・本人の意向を無視したジョブローテーションなどにより、JR東日本の安全は完全に地に墜ちた。また、仲間の声にもあるように3大労災にもかかわらず社内外に周知がされていない。管理駅や隣接駅、同じ営業職場の仲間でも知らされていないと同時に全く点呼でも事象の共有がなされていないのが現実だ。もし仮に施策を優先し周知を怠っているのならばあるまじき行為である！即刻、**JR東日本は事故の全貌を明らかにし再発防止**に努めるべきだ！

隠蔽か!?

JR東日本は
「安全軽視」
「利益優先」
の危機的状態

現場社員には「速やかな報告」「正しい報告」

経営側がこのような姿勢では整合性が取れない！